

事業番号	07 02 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	中小企業金融対策事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	
		実施期間	S28 ～	E-mail	keieishien @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・コロナ禍により増大した借入金に加え、物価高等により収益が悪化した中小企業者の資金繰りを支援するとともに、事業展開や新分野への進出に向けた前向きな資金需要に応える必要がある。
- ・高度化資金及び設備近代化資金の未収金については、貸付から長期間が経過し、効率的な債権回収が難しい。

2 事業目的

- ・中小企業者の信用力を補完し、事業に必要な資金の円滑な調達を促進する。
- ・高度化資金貸付金及び設備近代化資金貸付金を適切に管理し未収金の縮減を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 中小企業融資制度資金により中小企業者の資金繰りを支援

- ・経営改善・事業再生に取り組む中小企業者への支援を強化するため、「経営改善サポート資金」を拡充
- ・新型コロナウイルス等の影響を受けた中小企業者の返済負担の軽減を図るため、「経営健全化支援資金」において借換需要に広く対応するメニューを引き続き実施
- ・価格高の影響による新規借入需要に対応するため、「経営健全化支援資金（物価高対策）」（令和5年12月創設）を令和6年度も継続
- ・脱炭素化や物流2024年問題への対応等の前向きな設備投資を支援するため、「信州創生推進資金」において貸付利率引下げの継続や信用保証料補助の拡大を実施
- ・人材確保や賃上げを促進するため、当該目的に資する取組を行う中小企業者に対して貸付利率の引下げを実施（「中小企業振興資金（しあわせ信州創造枠）」）

② 高度化資金及び設備近代化資金における未収金縮減への取組

- ・未収金の縮小を図るため、延滞債権回収業務を専門的な知見を有するサービサーに委託し、主債務者や連帯保証人に対して財産調査を実施するとともに、返済額の増額交渉などを行う。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	中小企業融資制度「中小企業振興資金（創業枠）」、「小規模企業発展資金」及び「信州創生推進資金」利用件数	件	1,235	1,447	↗	1,623	↗	1,296	達成	令和5年度は利子補給の実施等により、R4年度比108%（9月末時点）で推移しているが、R6年度は利子補給の終了もあり増加が見込みにくいことから、R4年度比105%を目標とする。	
②	延滞先からの回収額（高度化資金・近代化資金）	千円	6,402	7,622	↗	5,437	↘	6,416	未達成	R5年度見込み値から10%増を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	
2-1①	成長産業の創出・振興											

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	153,714,200	△ 16,950,219	136,763,981	883,764	136,665,516	11.5
R5年度	0	187,604,371	△ 20,004,190	167,600,181	972,827	167,512,166	11.5
R4年度	0	198,564,060	△ 23,772,255	174,791,805	225,616	174,458,006	11.5

事業番号	07 02 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	中小企業金融対策事業費		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課		

7 主な取組実績と成果

<p>① 中小企業融資制度資金により中小企業者の資金繰りを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度実績は、件数6,854件、金額719億7,607万円、対前年比は件数で79.6%、金額で78.9%となった。 ・資金別にみると、R6.6に終了した「経営健全化支援資金（伴走支援型）」の利用が852件（前年比38.7%）、約153億（前年比42.9%）と、実績を押し下げる要因となった。 ・一方、原材料価格の高騰等へ対応するためR5.12より創設した「経営健全化支援資金（物価高対策）」の利用が836件、153億円に上り、制度全体で最も利用される資金となった。 ・また、「経営改善サポート資金」の利用も急増（前年比628%）。特に「特別型」は保証付融資全般からの借換が可能な上、保証料の自己負担なし、据置期間が最大5年取れるなど、抜本的な事業再生を目指す事業者への支援に繋がった。 ・さらに、信州創生推進資金の利用が1,257件（前年比111%）、約110億（前年比114.2%）と、本資金設置以来初めて100億円を突破し、創業向け資金や地域活性化向け資金等において設備投資などの前向きな事業活動が活発化する結果となった。 <p>② 高度化資金及び設備近代化資金における未収金縮減への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスと連携し、状況把握の上で約束した返済に遅れがある先には積極的な督促を実行。回収が難しい債権については、債権放棄に向けて慎重に調査を進めた。 ・また、亡連帯保証人の相続及び財産調査を行い、財産の換価及び債権配当が見込める先について相続財産清算人選任事件を1件申し立てた。
--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	中小企業融資制度「中小企業振興資金（創業枠）」、「小規模企業発展資金」及び「信州創生推進資金」利用件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
<p>県内経済は原材料価格の高騰等の影響により依然として厳しい状況にあるものの、一部で持ち直しの動きが見られ、信州創生推進資金の創業・承継・IT産業向け・地域活性化のメニューにおける前向きな資金需要が増加したため、成果指標を達成できた。</p>							
指標②	延滞先からの回収額（高度化資金・近代化資金）	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
<p>サービスと連携して債務者との対話を重ね延滞債権の回収に努めたものの、連帯保証人の死亡等により従来通りの返済継続が困難な先があったことに加え、自己破産申立てや前年度の一括返済による完済により返済が終了した先があったことから、目標達成に至らなかった。</p>							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者等の資金需要に対応するため、金融機関や信用保証協会と連携し、経済状況、社会情勢等に応じた制度となるように継続した資金の見直しが必要である。 ・債務者及び連帯保証人に返済余力がなく回収が困難となる先が増えている。
(2) 事業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・経済情勢や国の制度の動向等を注視するとともに、金融機関や信用保証協会等を通じて中小企業者等の実態把握に努め、効果的な制度となるよう随時見直す。 ・引き続きサービスと連携し滞納金の縮減を図ると共に、継続して情報把握に努め、回収が困難な案件については債権放棄も視野に入れて取り組む。

事業名	中小企業金融対策事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課
-----	--------------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	中小企業融資制度資金		174,388,688 千円	167,418,877 千円	136,637,771 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	融資原資預託	貸付金	金融機関に貸付原資の一部を預託することで、低利融資を実現し、中小企業の経営の下支えや前向き資金の利用拡大を図る 制度融資を扱う長野県内に本支店がある金融機関に1,356億円預託		
2	信用保証料補助金	補助金	信用保証料の一部を補助することで、事業者負担を軽減 長野県信用保証協会に約8.3億円補助（事業者負担分を補填）		
3	利子補給補助金	補助金	金融機関を通じて新型コロナウイルス感染症対応資金（ゼロゼロ融資）及び信州創生推進資金（事業展開向け）の利子補給を実施することで事業者負担を軽減 制度融資取扱い金融機関に利子補給約1.2億円（金融機関を通じた間接補助）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	高度化資金		48,559 千円	86,740 千円	18,871 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	高度化資金貸付	貸付金	中小企業基盤整備機構への貸付（組合等への間接貸付） 1件		
2	高度化資金償還	直接	中小企業基盤整備機構への償還 計画償還（国負担分6,242千円）		
3	高度化資金繰出	直接	一般会計への繰出 計画償還（県負担分8,405千円）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	小規模企業者等設備導入資金貸付事務費		20,403 千円	5,995 千円	7,046 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	不動産競売	直接	不動産の競売 該当案件なし		
2	延滞債権回収業務委託	委託	延滞債権回収業務委託 サービサー1社		
3	貸付金管理システム保守委託	委託	高度化資金貸付金の債権管理等に必要なシステムの保守委託費用 保守管理1社		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	小規模企業者等設備導入資金		356 千円	554 千円	1,828 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	設備近代化資金償還	直接	国への償還 計画償還（国負担分909千円）		
2	設備近代化資金繰出	直接	一般会計への繰出 計画償還（県負担分918千円）		